

アートワーク&工事現場見学会（第2回）

去る平成24年1月29日（日）、再開発工事現場にて、長津田駅北側まちづくり協議会と鹿島・相鉄・土志田建設工事共同企業体の共催による、「アートワーク&工事現場見学会（第2回）」が開催され、近傍の小中学生、小さなお子様づれの親御さんからお年寄りまで総勢約250名の来場がありました。

会場内では、昨年秋頃に、地元小中学生を主体として『「自分が花だとしたらどんな花？」をテーマ』に、この地にあった樹木を使った木片に思い思いの花を描いてもらったオブジェが、アート作家の長谷川仁さんによって見事な2つの巨大リースとなってお披露目されました。

子供たちの中には、自分が作ったオブジェが何処にあるのか必死に探している子供や、お父さん、お母さんに自分の作品を自慢げに見せている子供などもいて、そんな様子を見ると、この作品が区民文化センター他の壁面に取り付き正式にお披露目される日が来るのが今から待ち遠しく思います。

また、工事関係者からは、「再開発ビルの高層棟の工事がどのように進んでいくのか」、「タワークレーンがどのように上に伸びていくのか」について、クイズを交えながら説明がなされ、我先にクイズに答えようと「ハイ！ハイ！」と必死に手を上げる多くの子供たちの姿がとても印象的でした。

さらに、現場内では建設機械に乗っての記念撮影やタワークレーンでの資材の移動を無線を使って操縦者へ指示する体験コーナーも用意され、子供たちにとっては貴重な体験になったことと思います。

また昨年に引き続き、餅つき体験とともに、つき立て餅ととん汁も振舞われ、今年一番の寒さの中、熱々のとん汁で温まっている様子でした。

なお、長津田駅北口を降りて正面のビルの1階（※）に開設された「ふれあいサロン長津田」も現在週2回（金・土12:00～15:00）オープンしているとの事ですので、気軽にお立ち寄り下さい。（※）H24夏頃解体予定
(記事作成 K. S)



【巨大リース】
(直径約4m×2)

※仮置きなので最終的なサイズ及び配置ではありません。



【作家 長谷川仁さんによる説明】



【工事説明模様】



【ふれあいサロン長津田の説明】



【クレーン操縦席での記念撮影】



【タワークレーン操作指示体験】



【タワークレーン模型による操作説明】



【餅つき体験】



【餅&とん汁】